

ホンダ 車種の系譜・・・その車は、どの流れの何代目か

横＝年代（図解①と同じ目盛り）／縦＝7つの系統。左から右へ、名前が受け継がれてきた道すじを追えます。

図解①と並べて見ると、規制や不況の直後にどの車が生まれ
たかが縦に読めます。年は国内発売年の代表値です。

	1940s 創業	1950s 二輪	1960s 四輪参入	1970s 規制	1980s 世界生産	1990s ミニバン	2000s 拡張	2010s 軽の王者	2020s 電動化
軽自動車 いまの主力			1963 T360 四輪の第一号は軽トラック 1967 N360 軽のヒット作	1971 ライフ	1985 トゥデイ			2011 N-BOX 背が高く広い軽。販売の柱に 2013- N-WGN／N-ONE／N-VAN	2020s N-BOXが定番に 中古の台数も多い ⌚
コンパクト 会社を大きくした流れ				1972 シビック 初代 CVCCとともに世界へ	1981 シティ 背の高い小型車の先駆け	1996 ロゴ	2001 フィット タンクを床下に置き室内を広く		2020s フィット／シビック 両方が現行 ⌚
セダン・上級 大人向けの流れ				1976 アコード 米国で長く売れる看板 1978 プレリュード	1985 レジェンド 最上級モデル	1989 インスパイア		2010s 国内はセダン縮小 SUVとミニバンへ移行	2020s アコードが残る ⌚
ミニバン 会社を救った流れ						1994 オデッセイ 低迷期を救った一台 1996 ステップワゴン	2000 ストリーム 2008 フリード 小さめの3列		2020s フリード／ステップワゴン 子育て世代の定番 ⌚
SUV いま伸びている流れ						1995 CR-V 乗用車の足まわりでSUVに 1998 HR-V		2013 ヴェゼル 売れ筋の小型SUV	2024 WR-V 価格を抑えたSUV ⌚
スポーツ 会社の看板			1963 S500 四輪の乗用車第一号			1990 NSX 国産初の本格スーパーカー 1999 S2000		2015 S660 軽のオープン2座	2020s シビック タイプR 速さの看板 ⌚
電動化・技術 これからの流れ					1989 VTEC よく回るエンジン	1999 インサイト 日本初の量産ハイブリッド	2000 ASIMO 歩くロボット	2016 クラリティ FUEL CELL 燃料電池車	2020s e:HEVとEV 2040年に全新車を電動へ ⌚

🏆 いちばん効いた一台

1994年のオデッセイ。背の高い車の専用設備がない中、乗用車の工場で作れるミニバンを考え出しました。制約を工夫で越えるという、この会社らしい一台です。

💡 中古車を見るとき使い方

ホンダは名前が続いていても、代によって性格が大きく変わることがあります。「シビックだから」ではなく「何代目のシビックか」で見てください。同じ名前でも別の車だと思ったほうが安全です。

⚠️ 生産終了した車の注意

スポーツ車や台数の少ない車は、部品が探しにくくなることがあります。長く乗るつもりなら、部品の供給状況を買う前に販売店へ確認してください。